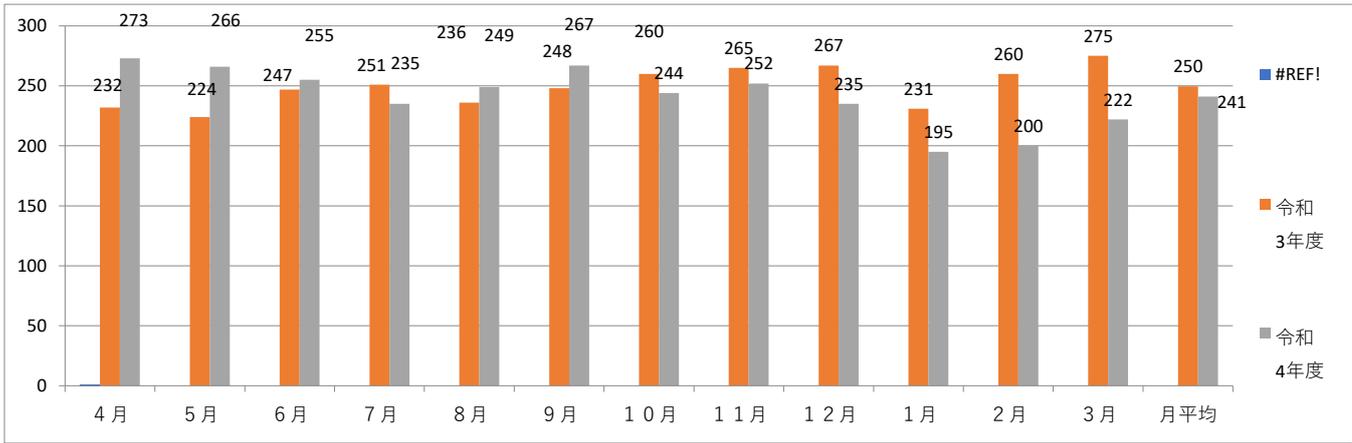


デイサービスはまぎく活動状況報告

1. 利用者実績数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
令和3年度	要支援 総合	13	12	11	11	11	10	9	11	11	11	11	10	10.9
	利用 延回数	51	37	38	39	36	40	32	44	40	40	39	41	39.8
	要介護	40	40	39	38	36	34	39	39	40	38	41	39	38.6
	利用 延回数	232	224	247	251	236	248	260	265	267	231	260	275	250
令和4年度	要支援 総合	10	12	11	10	10	11	9	9	9	7	7	7	9.333
	利用 延回数	41	46	46	34	29	37	30	34	31	24	25	29	33.8
	要介護	42	41	36	36	37	37	37	37	37	35	35	33	36.92
	利用 延回数	273	266	255	235	249	267	244	252	235	195	200	222	241



平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和3年度	1.8	1.8	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.9	1.8	1.8	1.8
令和4年度	1.9	2.0	2.1	2.1	2.2	2.1	2.1	2.4	1.9	1.7	1.7	2.0	2.0

中重度（要介護3～5）の受入れ割合

3年度	31%	4年度	29%
-----	-----	-----	-----

平均介護度

3年度	1.8	4年度	2.0
-----	-----	-----	-----

2. 行事・レク活動

4年	主な活動行事（*レクリエーション内容は別紙参照/毎月お誕生会開催）
10月	・各種ゲーム（秋の大運動会）
11月	・各種ゲーム ・消防避難訓練(11/28) ・紅葉ドライブ(11/8,11/9)
12月	・各種ゲーム ・創作活動（クリスマスツリー作り）・クリスマス会(ビンゴゲーム)
1月	・各種ゲーム ・書き初め ・かるた大会 ・創作活動(みずき団子飾りづくり) ・みずき団子づくり
2月	・各種ゲーム（節分鬼退治ゲーム）
3月	・各種ゲーム ・ひな祭り（ひな祭り食事提供、ひな祭りの歌合唱）

3. ボランティア団体及び地域交流会の状況

- ・コロナ禍の影響により、各ボランティア団体の慰問活動が自粛されている

4. 事故発生・災害時の状況報告

月日	主な事故・ヒヤリハット・災害状況	原因・対応・改善策
10~2	<p>事故=0件 ヒヤリハット=0件 急変=3件</p> <p><急変> 1.おやつ時間、スプーンを落とされ、手袋着用のまま手づかみでプリンを食されていた。いつもと様子が違うため声掛けを行うと、返事はするものの、反応が鈍い状態。</p> <p>2.来所時、特に変わりなく、他利用者と会話をされていた。血圧を測定しようとした際、座ったまま右側に傾かっていた。呼名に反応なく、顔色不良。</p>	<p>原因・対応・改善策</p> <p>1. BP=89/54 P=65 SPO2=95% 自発呼吸(+) 何度も声をかけ、開眼されるもうつろ状態だったため、家族に電話連絡実施。家族が迎えに来るとのことだったが、徐々に状態が低下している様子があり、再度家族に確認し、救急車要請となった。看護師付き添いの下、県立釜石病院に救急搬送となる。家族も病院へ向かう。病院にて、検査を行ったが、特に異常は見られなかった。高齢のため、何が原因で急変になったかは不明と医師からの話があり。検査終了後、帰宅となった。帰宅後、体調も落ち着かれたとの家族からの報告があった。高齢者は、いつ体調の急変があるかわからない。常に利用者の体調、状態の観察を行い、早期発見と見守りの強化に努めていく。</p> <p>2. ベットに臥床させ、下肢挙上する。呼名に少しずつ反応がみられるが、開眼はない。離握手可能。家族に連絡し、救急車要請となる。BP=132/79 P=64 開眼し発語みられるが、顔色、口唇色不良。徐々に会話が可能となる。「トイレへ行きたい」と訴えがあり、安静保持のため床上で排泄を促す。救急車到着後、家族も到着し、状態説明を行なった。その後家族付添いの元、県立釜石病院へ救急搬送となった。状態確認のため家族へ電話連絡を行う。検査を行ったが、異常はなく、点滴を行い体調も落ち着かれて帰宅されたとのことだった。いつ、どのような場面で遭遇するかわからない急変に対して、冷静に対応できるよう職員間で確認しておくことが大切だと感じる。</p>

<p>3.来所時、苦痛の表情がみられる。会話中も肩呼吸がみられ、会話も途切れながら、いつもとは違う様子が見られた。</p>		<p>3.BP=179/92 P=90 SPO2=91% 唇チアノーゼ(一) 家族に連絡するが、家族受診中とのことで、はまぎくで様子を見てほしいとの希望あり。臥床促し安静にさせる。少しずつ息苦しさは軽減されたと話されるが、トイレ歩行後から、再度息苦しみの訴えがあり。BP=178/105 P=94 SPO2=88% 家族に再度連絡し、至急受診を促す。家族が主治医に連絡し、県立釜石病院へ至急受診するようにとの指示があり、救急車要請となった。看護師付き添いの下、県立釜石病院へ救急搬送となる。診断結果は心筋梗塞。徐々に心機能が低下されていた様子があり、入院となった。来所持から本人の状態の異変に気づき、すぐに家族に受診を促したが、家族の事情もあり、午前中は臥床させ様子確認を行った。血中酸素濃度が91%という時点で、すぐに救急車要請をすべきだったのではないかと反省する点がある。今後も利用者の状態観察、早期発見、早期対応の強化に努めていく。</p>
---	--	---

※ 前年度事故件数＝上半期：事故0件、ヒヤリハット2件、その他1件 下半期：事故0件、ヒヤリハット1件、急変2件、その他1件
 ※ 今年度事故件数＝上半期：事故0件、ヒヤリハット2件、急変1件

5. 職員研修の実施状況

月	研修内容と参加者数
10～2	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回社協業務課全体研修（介護保険制度について学ぶ～ケアマネの役割～）＝5名 ・新型コロナウイルス感染防止における初期対応及び感染しやすい場面等について(オンライン研修)＝1名 ・はまぎく内部研修 BCP策定(動画鑑賞)＝6名 ・はまぎく内部研修 はまぎく重要事項説明書の確認、共有＝6名 ・介護事業者のための業務継続計画(BCP)作成セミナー(オンライン研修)＝1名 ・第5回新型コロナウイルス感染防止に係る介護サービス事業者等との意見交換(最終回 オンライン研修)＝1名 <p>※9/26～9/30実習生受け入れ(盛岡福祉・医療・スポーツ専門学校から1名)</p>

6. 課題等

<ul style="list-style-type: none"> ・新規の受け入れはあるものの入院、死亡、他施設への入所、ショート利用等の理由で継続的な利用につながらない。休んだ方のほとんどが、週2回以上利用されており、延べ利用回数、報酬額の減少となっている。 ・介護福祉士の有資格者の割合が下回っている。無資格の職員も積極的に介護福祉士を取得できるようにバックアップ体制を整えていきたい。 ・次年度から、津波避難訓練を実施予定。避難訓練の実施計画等を作成し、職員間で訓練の確認、シミュレーション等行う必要あり。 ・今年度も施設の老朽化に伴い、修繕費用の支出が大きい状況である。次年度も浴槽内のタイルの修繕工事を予定している。 ・新型コロナウイルス感染症の対策が5月から規制緩和となるものの、施設内での感染拡大を防ぐため、引き続き、感染予防対策を行いながら、適正な介護サービスを行っていく必要がある。 ・ボランティア団体の慰問活動の受け入れ、レク活動の制限について、今後のコロナ感染症の状況を見ながら対応していく。 ・4月からの職員の勤務体制の検討が必要。

7. 次回運営推進会議開催予定

令和5年10月 場所：大槌町デイサービスセンターはまぎく